

ANNUAL REPORT JCI 大阪

いのち煌めき輝く
世界のリーディング都市
大阪の実現

剛毅果斷

の精神で
夢と感動を
届けよう



ANNUAL REPORT
2025
<https://www.osaka-jc.or.jp/>

JCI 大阪

検索





いのち煌めき輝く 世界のリーディング都市 大阪の実現

- 剛毅果断の精神で 夢と感動を届けよう -

目次

大阪青年会議所とは	04
大阪青年会議所の歴史	05
理事長所信	06
01.夢に向かってフルスイングする子どもを育む	
- 第44回大阪市長杯わんぱく相撲大阪市大会	10
- WORK TO THE FUTURE	11
- BASEBALL LOVE野球イベント&少年野球大会	12
- MINATO天保山まつり	13
- 「やってみよう!キッズチャレンジ」	14
- 整肢学院児童レクリエーション	15
02.時流をつくるリーディングプレイヤーを大阪から輩出	
- 政策革命2.0～高校生がつくる新時代～	17
- なぞぶろ	18
- 献血にいったんでプロジェクト大阪2025	19
- 第37回なにわ淀川花火大会	20
03.メジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出	
- Co-LaBo(Co-creation Launching Bridge Osaka)	22
- グローバルシップチャレンジ	23
04.厳しくも温かい青年会議所への帰帰	
- 新年名刺交換会	25
- 大阪会議	26
- ASPACウランバトル大会	27
- サマーコンファレンス2025	28
- 月例会	29
- 月例会講師講演詳細レポート	30
- 75周年式典	32
- 全国大会佐賀大会	33
- 世界会議ジュニス大会	34
- 会員大会	35
広報活動紹介	36
活動協力企業及び連携先紹介	37
2025年度大阪・関西万博での活動	38
2025年度の歩み	40
2025年度組織図	42

大阪青年会議所とは

/ About Junior Chamber International Osaka

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所(商工会議所法制定にともない青年会議所と改名)設立から、日本青年会議所(JC)運動は始まりました。

共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもと、1950年には大阪青年会議所が国内で2番目に創設され、日本JCという国家青年会議所を設立するための重要メンバーとして関わっていきました。また各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所(日本JC)が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条(トレーニング「個人の修練」、サービス「社会への奉仕」、フレンドシップ「世界を結ぶ友情」)のもと、よりよい社会づくりをめざしボランティアや行政改革などの社会課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所(JCI)のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

大阪青年会議所の特性

/ Characteristics of Junior Chamber International OSAKA

青年会議所には品格のある青年であれば、個人の意思によって入会できますが、大阪青年会議所では25歳から40歳までという年齢制限を設けています。(但し入会資格は満25歳から37歳まで)これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会に貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなければなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られています。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動に展開しています。

青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

団体概要

/ Organization overview

団体名	一般社団法人大阪青年会議所
独立年月日	1950(昭和25)年3月25日
社団法人格取得年月日	1955(昭和35)年1月17日
一般社団法人移行年月日	2014(平成26)年1月6日
事務局所在地	〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-30オーク4番街 401号室
連絡先	TEL : 06-6575-5161 / FAX : 06-6575-5163
正会員数	710名(令和7年12月31日現在)
OB会員数(名誉・特別・卒業会員含む)	2,854名(令和7年12月31日現在)
事業年度	1月1日~12月31日
URL	https://www.osaka-jc.or.jp

大阪青年会議所の歴史

- 1950年 大阪青年会議所創立
- 1951年 日本青年会議所創立
- 1957年 「整肢学院児童招待ドライブ」を開始
- 1962年 「JCIアジアコンファレンス」を大阪にて開催
- 1970年 万国博野外劇場施設及び参加催物の提供
- 1974~83年 「淀川マラソン」を実施
- 1974年 淀川改修100年を記念して「淀川100野外祭」を開催
- 1980年 「JCI世界会議大阪大会」を開催
- 1980~89年 「国際シンポジウム」を開催
- 1980年 「キッズ スワップ (交換ホームステイ)」を開始
- 1981年 「TOYP(The Outstanding Young Person) 大阪会議」を開催
- 1982年 「わんぱく相撲」を実施
- 1985年~ 天神祭「船渡御」への能、文楽、歌舞伎船での参加
- 1986年 「Save The Children Japan(SCJ)」設立(大阪JCが中心となって設立)
- 1995年 阪神・淡路大震災における組織的支援活動/国連広報局よりNGOとして承認
- 1996年 「大阪NPOセンター」設立(大阪JCが中心となって設立)
- 「大阪モデル国連会議(OMUN)」開催
- 1998年 「第2回世界遺産国際ユースフォーラム1998」を開催
- 2000年 大阪JC創立50周年記念植樹/「大阪JC実りの森」を実施
- 2001年 「日本JC第50回全国会員大会大阪大会」開催
- 2008年 インド・ニューデリーにて、「2010年度JCI世界会議」が大阪に決定
- 2010年 「大阪JC創立60周年記念式典・祝賀会」開催
- 「第65回JCI世界会議」を大阪にて実施
- 2012年 「第67回JCI世界会議台北大会」でブロンペンJCとシスターJC締結
- 2014年 一般社団法人へ法人格を移行
- 2015年 「大阪JC創立65周年記念式典」開催
- 2016年 18歳選挙権解禁に伴うULTRA VOTE PROJECTの開催
- 2017年 マチミラOSAKA2017の開催
- 2018年 大阪市への公開提言の実施/万国博覧会の開催決定
- 2019年 SDGs MIRAIKAIの開催/ SDGs甲子園×TOYPの開催
- 2020年 「大阪JC創立70周年記念式典」開催/粋の折りプロジェクトの実施
- 2021年 「献血にいったんでプロジェクト大阪2021」開催/「大阪未来博」を開催
- 2022年 「バズる FUKUSHIMA」開催/「モテラシー-OSAKA」の実施
- 2023年 「みらいく/ World Citizenship Congress / Pe-sports fes' 23」の実施
- 2024年 「MINATO 天保山まつり」の開催/
- 「Kids Explorers~ 心に残る、ありがとう~ /ゼロハイプロジェクト」の実施
- 2025年 「EVA CONNECT NEXTGEN / waste as a mirror of humanity / CO-LABO」の実施



整肢学院児童招待ドライブ



淀川マラソン



わんぱく相撲



阪神・淡路大震災支援活動



第65回 JCI世界会議 大阪大会



大阪JC創立65周年記念式典



マチミラOSAKA2017

いのち煌めき輝く 世界のリーディング都市 大阪の実現

- 剛毅果断の精神で 夢と感動を届けよう -

最初は自分の夢のためにバットを振っていた。
それがいつからか、チームのためにバッテリーボックスに立っていた。
そして今でも、白球を追いかけていたあの頃と変わらず、みんなの夢のため、誰よりも先頭に立ってバットを振り続けている。
自分の夢がみんなの夢が変わる時、流した汗の煌めきが共に流す涙の輝きになる。
仲間と掲げた目標に向かってやり抜く気概と、周囲を巻き込み先駆けて行動する剛毅果断の精神で、
いのちの煌めきを響き合わせ共に未来を輝かし、夢と感動を世界へ届けよう。



一般社団法人 大阪青年会議所
第75代理事長



はじめに

私たちのいのちは、地球という一つのチームの中で、互いに支え合いながら成り立っています。その中で人類は、環境に応じて進化を繰り返して、多様な文化を築き上げ発展してきました。しかし、時にチームの一員であることを忘れ、自らの繁栄のために自然や他者を犠牲にしてきた結果、地球規模での災害や感染症の拡大など、地球の素晴らしさが失われつつあります。いのちが煌めき輝き続ける持続可能な未来のため、チームの一員として私たちにしかできない責任と役割を諦めず、果たし続けなければなりません。

いつの時代も大阪が未来・社会・世界をリードする

戦前には、人口、面積、経済において国内最大の都市となり、「大大阪」と呼ばれ日本の近代化を牽引した大阪。1970年にはアジアでは初めての国際博覧会を開催し、日本だけでなく世界のリーディング都市として、テクノロジーやデジタル技術の発展に貢献し、みんなの夢を実現させてきました。2025年、再び国際博覧会が大阪・関西の地で開催されます。この地球で生きるみんなの夢の実現に向け、大阪が先駆けて行動し、諦めずに挑戦を続ける精神で共感を広げ、いのち煌めき輝く世界のリーディング都市大阪を実現します。

厳しくも温かい青年会議所への回帰

大阪青年会議所は、明るい豊かな社会の実現に向け、市民や団体、行政を巻き込みながら課題解決をすると共に人財育成の仕組みを構築してきました。生活様式の変化により人びとの価値観が多様になり社会のニーズが複雑化する現在、時代を牽引する多角的かつ斬新な視点の転換が必要です。だからこそ組織が築いてきた価値を新たな観点で再定義し、確固たる基盤として確立させる先駆けたリーダーを創出する必要があります。一見すると、非効率なことさえ重要と捉えて成長の機会を創出し続けてきた組織の文化と、効率化を推進しながら多様性を重んじる新たな価値観として共鳴させるメンバーを増やす必要があります。そうすることで、世代を越えた仲間との共感が生まれ、共に課題解決に向けた新しい文化を創ることができるのです。そして、組織が展開する運動を余すことなく市民へと波及させていくために、外部の団体を巻き込み、社会課題に挑み

続ける過程で得られる熱い感動を発信し、大阪に住み暮らす人びとの共感を呼び起こしていきます。また、数多くの友好LOMやシスターJCをもつ大阪青年会議所は、世界に類を見ない広域ネットワークを形成するポテンシャルがあります。それらを最大限活用するため、それぞれの組織が積み重ねてきた信頼と経験を組織の枠を越えた協働へと昇華させる人財を生み出していきます。私たちは、多種多様な煌めきをもったメンバーを輝く未来を牽引するリーダーへと育成し、外部との連携を通じて共感を広げ、受け継がれてきた精神を新たな価値観と融合させることで、剛毅果断の精神で大阪のまちに数多の煌めきを集めて大きく輝かせる組織となり、いのち煌めき輝く世界のリーディング都市大阪を実現します。

夢に向かってフルスイングする子どもを育む

近年、人びとの生活様式や価値観の多様化により、地域における助け合いの関係性が希薄化し、親子を取り巻くつながりが分断されてしまっています。感受性の強い子どもは、親だけではなく様々な人びとの関わりの中で互いに支え合うことを理解し、地域や社会、地球というチームの一員として、生命や自然の大切さ、他者を想いやる心を学んでいきます。だからこそ地域を担う大人たちが親の直面している状況を理解し、周囲を巻き込み子どもを育てていく必要があります。そのためには、垣根を越えた強固なつながりを取り戻し、多様な経験から子どもたちの他者への共感力を育み、子どもを育む輪が広がる環境を構築する必要があります。また、大阪は、自己肯定感が低いことや将来の夢が無いと答えた子どもの割合が全国の中でも高い傾向にあります。予測が困難な変化の激しい時代であるからこそ夢に向かって自らの手で未来を切り拓くためには、その気概の源となる確固たる自信をもたなければなりません。様々な文化、価値観が融合して創られた歴史をもつ大阪だからこそ、既存の価値観に囚われない先進的な環境の中で、失敗を含めた数々の挑戦を仲間と共に乗り越えていけるかけがえの無い経験を提供することができ、それにより健全な自己肯定感が育まれ、夢をもって未来へ突き進む子どもたちを育むことができるのです。私たちは、あらゆる人びとの力を結集し、子どもたちと共に育む地域のつながりから未来を描ける環境を構築し、やり抜く挑戦の基となる圧倒的な原体験を通じて、まちの宝を仲間と育むビジョンに共感を巻き起こし、いのち煌めき輝く世界のリーディング都市大阪を実現します。



時流をつくるリーディングプレイヤーを大阪から輩出

二度にわたって行われた大阪都構想の住民投票では、住み暮らす私たちは一人ひとりの責任をかつけないほど実感すると同時に、必ずしも全ての世代がまちの未来への想いを行動に移せてはいないという現実を突きつけられることとなりました。この現状を打破するには、全ての世代が、まちの一員として意志を体现する、やり抜く気概をもつ必要があります。自らが住み暮らすまちの課題について周囲を巻き込み議論し、目指すべき姿を社会へ届けることを通じて、自分たちで解決できるという当事者意識が育まれ、本質を見極め、私事を越えて新たな時代へと先駆けて行動する原動力となるのです。また、訪日外国人旅客数が年々増加を続ける大阪は、日本の玄関口としての地位を確立し、国際社会において新たな段階に入ろうとしています。しかし、全国に目を向けると、オーバーツーリズムをはじめとし、地域住民と観光客との間で新たな課題が顕在化しています。インバウンドを牽引している大阪だからこそ、様々な文化を取り入れながら変化してきたまちの次なる姿として、時代に先駆けた新たな共生関係を提起する必要があります。世界に誇る日本文化を発信する玄関口として、世界中の人びとを魅了し、共に価値を創りあげ、日本経済を牽引するまちとならなければなりません。私たちは、全ての市民が未来を創り上げる当事者としての意識をもち、共に日本全体が目指すべきまちの姿の実現へとやり抜く行動力を波及させ、培ってきた資産と新たな可能性が融和した、いのち煌めき輝く世界のリーディング都市大阪を実現します。

メジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出

自国の権利を主張する利害関係の対立が加速し、私たちの暮らしにおいても深刻な影響を及ぼしています。国家というチームの垣根を越えて経済発展を実現するためには、相互の尊重と連携から生まれる多様ないのちが共存する未来を見出す必要があります。古くから交流や貿易の中心地として、国際的な視点で異なる文化や価値観を取り入れ経済成長を遂げてきた大阪だからこそ、蓄積された英知と育まれた独自の精神を響き合わせ、ビジネスを通じて世界を調和に導く、強固な民間外交の礎となる人財を創出する必要があります。あらゆる国の多種多様なつながりこそが既成概念に囚われない共通の利益を生み出し、すべての人びとが煌めき輝き続ける持続可能な世界が実現するのです。

様々な人びとの権利の尊重や平等の実現が世界共通の目標として掲げられているにも関わらず、国の枠組みや宗教などに起因する異なる文化や価値観への誤解や偏見により、解決の糸口が見出せていない対立関係が数多く存在し、その分断はますます顕在化しています。世界中から多種多様な人びとが集う国際博覧会が開催される今だからこそ、世界平和を願う共通の想いを高め、あらゆる垣根を越えた世界市民のみならず、多角的なアイデアを融合させ、全ての人が輝く人生を謳歌できる多文化共生のロールモデルを大阪から発信し、メジャーを舞台に活躍する次代のリーダーを創出する必要があります。私たちは、国家の垣根を越えて周囲を巻き込んだ経済的な協力関係を構築し、多様な文化や価値観を包摂する先駆けた社会の在り方を提起し、地球という1つのチームで新たな価値を共創し続ける、いのち煌めき輝く世界のリーディング都市大阪を実現します。

夢と感動を届けるため75年目の幕が上がる

戦後焼け野原の時代に、自分の家族や会社の明日だけを考えるのではなく、祖国のあやまりなき再建と世界平和というみんなの夢のため、青年たちはいのちの煌めきを輝きに変え、経済成長とこれまでにない日本の安定を実現しました。大阪青年会議所のいのちの根源ともいえる、この創始の精神は75年という月日が経った今でも、脈々と受け継がれています。

時空を超えて紡がれていく歴史の中で、私たちのいのちの煌めきは、たった一瞬で消えてしまうものかもしれません。しかし、先人たちのいのちの輝きは、今もなお私たちに夢と感動を届け続けてくれています。

1970年大阪が放ったホームランは日本だけでなく世界中に夢と感動を与えました。

自らの夢がチームの夢となり、仲間と掲げた目標に向かい、2025年大阪は再びバッテリーボックスに立ちます。

いのちの煌めきを響き合わせ、
共に未来を輝かせる剛毅果断の精神で夢と感動を届けましょう！

PLAY BALL!!

01. 夢に向かってフルスイングする子どもを育む

第44回大阪市長杯わんぱく相撲大阪市大会	10
WORK TO THE FUTURE	11
BASEBALL LOVE野球イベント&少年野球大会	12
MINATO天保山まつり	13
「やってみよう!キッズチャレンジ」	14
整肢学院児童レクリエーション	15

02. 時流をつくるリーディングプレイヤーを大阪から輩出

政策革命2.0～高校生がつくる新時代～	17
なぞぶろ	18
献血にいったんでプロジェクト大阪2025	19
第37回なにわ淀川花火大会	20

03. メジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出

Co-LaBo(Co-creation Launching Bridge Osaka)	22
グローバルシップチャレンジ	23

04. 厳しくも温かい青年会議所への回帰

新年名刺交換会	25
大阪会議	26
ASPACウランバトル大会	27
サマーコンファレンス2025	28
月例会	29
月例会講師講演詳細レポート	30
75周年式典	32
全国大会佐賀大会	33
世界会議ジュニス大会	34
会員大会	35

夢に向かってフルスイングする子どもを育む



地域のつながりから未来を描く環境づくり

子どもたちが夢や目標に向かって挑戦するためには、地域全体で支え合う環境が欠かせません。人と人の関わりの中で得られる経験は、自己肯定感や次の一歩を踏み出す力につながります。
大阪青年会議所は、地域のつながりを通じて、子どもたちが未来を描ける機会を創出してきました。



第44回大阪市長杯わんぱく相撲大阪市大会

本年度は、5月4日(日)東和薬品RACTABドームにて、大阪市内の小学校に通う全学年の小学生を対象に約400人のわんぱく力士が参加しました。特別ゲストとして、相撲芸人のあかつさんにも登場いただきマイクパフォーマンスや記念撮影で会場を盛り上げていただきました。

そして大阪青年会議所の新入会員のメンバーが中心となり準備した家族で楽しめるイベントブースや、大阪市内の会社やお店を運営されている方々の協力の元、キッチンカーや飲食屋台、ミニ四駆レース場などの体験ブースも出店し応援に駆けつけた家族の人たちも楽しんでいただきました。

わんぱく相撲大会では、勝ち負け以上に全力でぶつかっていく姿に大きな感動が生まれ、会場に参加した人たちが熱い想いを抱ききっかけとなりました。



WORK TO THE FUTURE

大阪市内にある複数の会社やお店の方々に協力をいただき、小学生の子どもたちを対象とした職業体験事業を実施しました。街の不動産屋スタッフとなり物件の調査・案内や、カフェやスパイスカレー店での食事作りや接客の仕事、大阪・関西万博会場でのキッチンカーでの食事提供、広告制作会社での動画作りなどそれぞれの会社やお店のスタッフとして1日体験をしました。初めはドキドキしていた子どもたちも、会社やお店の大人の方と協力し積極的に取り組むことができました。

参加した子どもたちは、この体験から一緒に働く人との関わりを学んでもらい、受け入れ先となった会社やお店の方々も真剣に取り組む子どもたちの姿に改めて地域との関わり的重要性を考えて頂く機会となりました。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育てる

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 メジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への回帰



BASEBALL LOVE野球イベント&少年野球大会

本事業は名球会や地域の少年野球チームなどとの連携で開催し、7月5日(土)・6日(日)に少年野球大会の予選会が行われ、同日開催の少年野球教室では元プロ野球選手の福留孝介さん、和田一浩さん、秋山拓巳さんにコーチとして参加いただきました。

そして9月20日(土)・21日(日)では激戦を勝ち抜いたチームによる白熱の決勝大会が大阪城公園軟式野球場にて開催されました。同日開催で、元プロ野球選手の中村紀洋さんや、野球系YouTuberのトクサンも参加しピッチングやバッティングの極意を学べる野球イベントを開催。トークショーでは、子どもたちにはスポーツを通じて感謝の心で前向きに挑戦することの大事さが伝えられ、キラキラとした目で話を聞く子どもたちの姿に、大人の方々も子どもたちとの関わり方や見守ることの大切さを感じられていました。



MINATO天保山まつり

10月4日(日)に天保山ベイエリアで開催された「第17回MINATO天保山まつり」では、「ありがとう万博」をテーマに万博ゆかりのブースやパフォーマンス、アーティストライブが行われました。

地域ビジョン確立委員会では、職業体験事業「WORK TO THE FUTURE」に協力いただいた企業やお店の方々、そして子どもたちが共同で飲食や物販ブースを出店しました。また、世界、全国の舞台上で活躍する子どもたちが、日頃磨いていた技を披露する「Future Expo キッズ in MINATO」のコーナーでは、雨天の中でも子どもたちの全力のパフォーマンスに会場からは大きな拍手と歓声が起きていました。子どもたちの前向きな仕事への取り組み、全力を振り絞る姿に事業に参加した大人も挑戦することの大切さを改めて感じることができました。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育てる

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 メジャーを舞台に活躍するゲームチューンジェマーの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への帰郷



「やってみよう!キッズチャレンジ」

小学校4～6年生の子どもたちと、子どもを育む大人の皆さまを対象に、和歌山の無人島にて1泊2日のサバイバル体験を行いました。

初日のウォーターサバゲーでは、子ども対大人の真剣勝負に、会場は楽しさと緊張感が入り混じる熱気に包まれ、参加者同士の距離が一気に縮まりました。その後は、流しそうめんの竹細工や食事用のかまど作り、魚の罟作りなどに挑戦。最初は思うようになかなくても、協力してやり遂げたときの子どもたちの笑顔がとても印象的でした。

2日目は、大人は見守り役に回り、子どもたちだけで調理や作業を進めました。自分たちで考え、仲間と力を合わせて動く姿に、頼もしさを感じる場面が多くありました。最後には、大人の皆さまから子どもたちへ、2日間の成長を伝える時間を設けました。大人からの言葉を受け取った子どもたちは、達成感とともに自己肯定感を高め、自信に満ちた表情を見せていました。

本事業を通じ、挑戦することの大切さや協力することの力強さを実感でき、子どもたちの主体性を育む貴重な時間となりました。



整肢学院児童レクリエーション

大阪整肢学院様と毎年実施している「整肢学院児童レクリエーション事業」において、2018年の万博記念公園での開催以来、実に7年ぶりとなる遠足事業を実施いたしました。

本年度は、遠足と院内レクリエーションの二手に分かれて開催し、遠足組は2025年大阪・関西万博の会場を舞台といたしました。普段外出する機会が限られている児童の皆様へ、世界的イベントの熱気を肌で感じていただく貴重な機会を提供することができました。当日は花火の打ち上げ日とも重なり、会場内は大変な混雑を見せましたが、新人リーダーズを中心としたメンバーが迅速かつ柔軟な連携を図り、安全を最優先に事業を成功へと導きました。

一方、整肢学院内の会場では例年通り10箇所のブースを設置いたしました。児童の皆様が目を輝かせながら何度もブースを周回し、心から楽しんでいる様子が随所に見受けられ、両会場ともに子どもたちの笑顔と活気に満ちた記憶に残る一日となりました。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育む

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 メジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への回帰

時流をつくるリーディングプレイヤーを 大阪から輩出



社会と向き合い、未来を選び取る力の醸成

社会の在り方は、一人ひとりの意思と行動の積み重ねによって形づくられています。課題を自分ごととして捉え、考え、発信する経験が、未来を選び取る当事者意識を育みます。
大阪青年会議所は、次代を担うリーディングプレイヤーの育成に取り組んできました。



政策革命2.0～高校生がつくる新時代～

大阪府内の高校生を対象に、主権者意識を育むことを目的とし、5つのステップで事業を展開しました。まず、なぜ選挙で投票することが重要なのか、民主主義社会の成り立ちから学んでいただきました。次に、大阪市議員の皆さまのご協力のもとインターンシップを実施し、議員活動を身近に体験する機会を提供しました。そして、各政党代表者に高校生が直接質問をする形式での公開討論会を開催し、自らの意見が政治に届く体験を創出しました。

さらに、高校生向け政策コンペティションである政策甲子園へのエントリーに向け、セミナーやグループワークを実施し、高校生が主体的に政策立案に挑戦することで、多角的な視点からの学びを得ていただきました。最後に、策定した政策を大阪市会に議席を有する各政党へ提言する場を設け、意見交換を行いました。

これらを通じて、高校生に「自分たちのまちは自分たちでつくる」という主体性を芽吹かせる事業となりました。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育む

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 メジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への回帰



なぞぶる

大阪・船場エリアに数多く残る近代建築を舞台に、近畿大学経済学部の大学生と共同で謎解きゲームを作成・開催する「船場レトロトリップ」を実施いたしました。小学生から大学生、そして地域の大人の皆さまが参加し、歴史的建築物を巡りながら謎を解く体験を通じて、大阪のまちの魅力を再発見する機会となりました。

プログラムの準備段階では、大学生が中心となりフィールドワークやグループワークを行い、建築物の歴史や背景を学びながら実際の謎を考案しました。当日の謎解きツアーでは、新井ビル、芝川ビル、青山ビル、生駒ビルディングといった象徴的な建築物をめぐる、普段何気なく目にしていない建物の奥深さに気付いていただきました。

特に子どもたちにとっては、遊び感覚で学べる「まち歩き」となり、地域の方々からも「歴史を楽しく体験できた」と好評をいただいております。学生にとっても、企画から広報まで一貫して携わることで、大きな学びと成長の機会となりました。



献血にいったんでプロジェクト大阪2025

大阪府赤十字血液センターと共同で献血推進事業を実施いたしました。若年層の献血者減少という社会課題に対し、献血への理解促進に努め、街頭での積極的な啓発活動を展開。効果的なSNSキャンペーンも展開し、新規献血者の多数獲得に貢献いたしました。

また、FM大阪の番組「よしもとラジオ高校らじこー」内のコーナー「愛です!Circle」に出演し、献血の重要性を広くPRいたしました。会場では、NPO法人関西骨髄バンク推進協会様にご協力いただき、献血と同時に、多くの骨髄ドナー登録を得ることができました。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育む

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 メジャーを舞台に活躍するゲームミュージアの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への回帰



第37回なにわ淀川花火大会

第37回なにわ淀川花火大会は、毎年多くの市民に親しまれている大阪の夏の風物詩であり、大阪青年会議所としても恒例のボランティア活動として参画しています。2025年度は、これまでの夏開催から初めて10月開催となる新たな試みの年となりました。時期の変更に伴い、来場者動向や運営体制にも変化が生じる中、関係団体と連携しながら、当日の来場者誘導や運営サポートを実施しました。

また、当日は雨天となるイレギュラーな状況もありましたが、現場で状況を共有しながら柔軟に対応し、安全確保と円滑な運営に努めました。翌日には、300名を超える一般ボランティアの皆さまとともに清掃活動を行い、会場周辺の美化にも取り組みました。

本活動を通じて、地域行事を支える当事者意識と、裏側からまちの賑わいを支える大切さを改めて実感する機会となりました。今後も大阪青年会議所は、地域とともに歩み、まちの魅力を高める活動に継続して取り組んでまいります。

メジャーを舞台に活躍する ゲームチェンジャーの創出



多様な価値観を力に変える人財の創出

価値観や文化の違いに向き合うことは、新たな可能性を生み出す原動力となります。対話と協働を通じて培われる視野と行動力は、社会課題を価値へと転換する力につながります。

大阪青年会議所は、世界を舞台に活躍する人財の創出を推進してきました。



Co-LaBo (Co-creation Launching Bridge Osaka)

大阪府内の学生を対象に、次世代のグローバルリーダー育成を目的とし、段階的なプログラムを展開しました。

まず、防災課題をビジネスを通じて解決するという目標を共有し、協力企業や専門家の皆さまのご支援のもと、国際ビジネスと防災に関する知見を学んでいただきました。次に、定期的な会議を通じて、学生が企業と協働しながらビジネスプランの構築に取り組む機会を提供しました。そして、2024年に姉妹JCとなったJCIリバの全面的な協力を得て、フィリピン・リバ市を訪問し、現地大学での発表や意見交換を通じて、防災ビジネスプランをブラッシュアップし、高い評価を得ました。

さらに、9月17日には関西・大阪万博において、学生たちが防災ビジネスプランを発表する場を設け、国際ビジネスと社会課題解決を結びつけた成果を広く発信しました。最後に、JICA関西並びに協力企業との振り返りを行い、学生に企業連携によるキャリア機会の可能性を示しました。

これらを通じて、学生に「国際社会の課題を自分たちのビジネスで解決する」という主体性を育む事業となりました。



グローバルシップチャレンジ

グローバルシップチャレンジは、既存の枠や異なる文化・価値観にとらわれず、世界的な視野で誰もが対等に交流できる「グローバルシチズン」を育むことを目的とした事業です。大阪府下の大学生と留学生が混成チームを組み、グループディスカッションやフィールドワークを通じて多様な視点を交わしてきました。その成果として、グローバルシチズンシップに関する想いや実践方法を共有するサイト「Global Citizen Movement」を立ち上げ、TOYPフォーラムおよび大阪市役所にて発表しました。今後も学生主体で、この理念を広く共有するための広報活動を持続的に展開していきます。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育む

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 メジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への回帰

厳しくも温かい 青年会議所への回帰



受け継がれる志を次代へつなぐ組織づくり

青年会議所が培ってきた規律や挑戦の精神は、組織の成長を支えてきました。厳しさと温かさが共存する環境が、人を育て、想いを次代へとつないでいきます。大阪青年会議所は、これからも組織の価値を継承し、進化させていきます。



新年名刺交換会

大阪青年会議所の会員OBが一同に介し、新年のお祝いをすると共に華やかな幕開けとして「藤山大樹氏による伝統芸能"手妻"」をオープニングアクトに実施しました。手妻の幻想的な演技は、今年度のテーマ「剛毅果断の精神で夢と感動を届けよう」にも通じ、伝統を受け継ぎつつ新しい表現に挑戦する姿は、地域や社会の未来を切り拓く挑戦の象徴です。

また、山岸理事長のご挨拶が行われ、2025年度活動方針が共有されました。理事会構成メンバーの紹介を行い、新年の交流と大阪青年会議所のさらなる発展への期待を高める機会となり、参加者同士のつながりが重要な場となりました。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育てる

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 メジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への回帰



大阪会議

1984年から続く伝統ある事業で毎年1月に合宿形式で開催し、理事長所信の読み合わせをするなどして大阪青年会議所の一年間の運動方針を理解すると共に、寝食を伴うことでメンバー同士の結束を深める機会となります。



ASPACウランバトル大会

2025年度ASPACはモンゴル・ウランバトルにて開催され、大阪青年会議所からは100名のメンバーが参加しました。本大会は、オープニングセレモニーを皮切りに、LOMランチョン、東名阪ランチョン、ジャパンナイトを含むナショナルナイト、そして盛大なクロージングセレモニーとGALAディナーと、多彩なプログラムを通じて参加者同士の交流が深められました。

特にLOMランチョンでは、約50名のシスターJCメンバーが参加し、活発な意見交換やネットワーキングが行われ、国際的な絆を一層強固なものとする貴重な機会となりました。また、ジャパンナイトでは、モンゴルの特産であるラム肉を活用した「土手焼き」を提供し、現地の食材と日本の食文化を融合させたユニークな演出が好評を博しました。

今回のASPACウランバトル大会は、国境を越えた友情と協働の精神を再確認する場となり、今後の国際活動へのさらなる意欲を高める有意義な機会となりました。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育む

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 メジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への帰郷



サマーコンファレンス2025

サマーコンファレンス2025は、7月19日(土)・20日(日)の2日間、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜にて開催されました。本年度のテーマは「Get your Future ～変わったのではない、変えたのだと誇れる未来へ～」であり、全国の青年会議所メンバーが集い、社会課題解決に向けた行動の方向性を共有する場となりました。会場では、フォーラム、セミナー、全体会など多彩なプログラムが実施され、各地での運動や実践事例を学ぶ貴重な機会となりました。

出向メンバーにとっては、全国の同志と交流を深め、今後の活動の基盤を築く有意義な時間となりました。国内連携推進委員会としては、LOMナイトの設営、友好LOM対応、出向委員会への支援など、多岐にわたる運営を担当しました。猛暑の中、一部トラブルはあったものの、全員が責任を持って行動したことで大きな混乱もなく全日程を終えることができました。

特にLOMナイトでは、委員会一丸となって大阪青年会議所らしさを体現する空間を創出し、多くの参加者から高い評価を得ることができました。今回の経験は、委員会メンバーにとっても大きな成長の糧となり、今後の活動に活かせる貴重な財産となりました。

月例会

理事長所信に基づいて年間のテーマを設定し、テーマに沿った講演やプログラムを通じて自己成長につながる学びを得られる機会を提供しています。また理事長挨拶では理事会報告などの方向性を共有する役割も果たしています。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育てる

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 ゲームジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への帰郷

月例会講師講演詳細レポート

/ Detailed Reports of Monthly Guest Lectures

2月度公開月例会

📍 帝国ホテル大阪 / 孔雀の間
2025.02.05(水) 19:00~

ROLAND 氏
ホスト界の帝王が語る「挑戦」し続ける理由とは



3月度月例会

📍 帝国ホテル大阪 / 孔雀の間
2025.03.12(水) 19:00~

川谷潤太 氏
組織力を向上させるチームビルディング



4月度月例会

📍 帝国ホテル大阪 / 孔雀の間
2025.04.15(火) 19:00~

成田修造 氏
未来を創る当事者意識



6月度月例会

📍 帝国ホテル大阪 / 孔雀の間
2025.06.19(木) 19:00~

青木仁志 氏
子どもが夢へと全力で飛び込める地域を創ろう



7月度月例会

📍 帝国ホテル大阪 / 孔雀の間
2025.07.14(月) 19:00~

青山恭明 氏
多文化共生のロールモデルの発信



10月度月例会

📍 帝国ホテル大阪 / 孔雀の間
2025.10.14(火) 19:00~

鈴木仁志 氏
人脈資産を未来へつなぐ
~OB・退会者・休会者ネットワーク構築の最前線~



01 夢に向かってフルスイングする子どもを育む

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 ゲムジャーを舞台に活躍するエンジャーの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への回帰



75周年式典

大阪青年会議所は、本年度75周年という大きな節目を迎えることができました。この輝かしい歴史は、創立以来、幾多の困難を乗り越え、地域の発展と次代のために尽力されてこられた先輩諸兄姉の多大なるご尽力、そして現役メンバー一人ひとりの情熱の賜物であります。私たちは、先代の皆様から継承した志と伝統を胸に、時代に即した形で新たな価値を創造し、次の世代へと確固として継承してまいります。5年後、10年後、そして創立100周年を迎えるその日まで、変わらぬ情熱と誇りを持って歩み続けてまいります。



全国大会佐賀大会

「全国大会佐賀大会」は、公益社団法人日本青年会議所が2025年度に開催した第74回大会で、テーマ「第74回全国大会佐賀大会 Plus Ultra～理想の先へ～」のもと、全国各地のメンバーが一堂に会し、1年の運動の集大成と未来への決意を新たにす場となりました。会場は佐賀県佐賀市にあるSAGAアリーナおよび佐賀文化会館で、全国から多くの参加者を迎え、フォーラム・セミナー・全体会など多彩なプログラムが展開されました。本大会において、わが委員会は設営・運営の支援役として、会場内外の登録受付・誘導・友好団体対応・LOMナイト設営等、多岐にわたる実務を担いました。猛暑の中、また突発的な対応も求められる状況でしたが、メンバー一人ひとりの責任ある行動と連携のおかげで、大きな混乱や事故なく全日程を終えることができました。特にLOMナイトにおいては、会場設営・進行・演出を委員会一丸となって遂行し、参加者の記憶に残る時間を創出できたと確信しております。また、席取りや誘導、お酒配りなど「影の担い」も着実に機能し、式典および懇親会の運営を陰で支えたことは、大会成功の大きな要因でありました。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育む

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 ゲームジャーを舞台に活躍するゲームチェンジャーの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への帰郷



世界会議チュニス大会

2025年度JCI世界会議は、北アフリカのチュニジア・チュニスにて開催され、大阪青年会議所からは97名と多くのメンバーが参加いたしました。大会初日はオープニングセレモニーに始まり、各国シスターJCとの交流の場となるLOMランチョン、多彩な文化が集うグローバルビレッジ、そして各国が自国の魅力を発信するナショナルナイトが行われました。

この中でもジャパンナイトでは、大阪青年会議所はソウルフードであるホルモン焼きに、現地チュニジアの辛味調味料「ハリッサ」を融合させたオリジナルメニューを提供し、日本とチュニジアの食文化をつなぐユニークな試みとして、多くの参加者から高い評価をいただきました。

LOMランチョンにはシスターJCメンバーが参加され、活発な意見交換やネットワーキングを通じて、国際的な絆を一層深める貴重な時間となりました。

最終日のクロージングセレモニーでは、下山田JCI会頭による力強くも温かいメッセージが述べられ、世界中の仲間たちと共に歩んできた軌跡と未来への決意を共有いたしました。その後、盛大に開催されたGALAディナーでは、1年を締めくくる笑い感動に包まれた交流が大いに盛り上がりしました。



会員大会

会員大会は、映像・光・身体表現を極限まで融合させ、世界各地で観客を魅了してきたアートユニット「enra」による圧巻のステージから幕を開けました。続く褒章授与式では、この一年間の活動を支えたメンバーの努力が称えられ、一人ひとりの功績が丁寧に表彰されました。

理事長引継ぎセレモニーでは、山岸理事長から山本次年度理事長へバトンが託され、新たな年度への挑戦と期待がさらに高まる時間となりました。そして卒業式では、送辞と答辞が心を打つ形で交わされ、卒業生のこれまでの貢献に対して深い感謝と敬意が示されました。会場全体が温かい余韻に包まれ、節目を祝うにふさわしい感動的な締めくくりとなりました。

01 夢に向かってフルスイングする子どもを育む

02 時流を作るリーディングプレイヤーを大阪から輩出

03 ゲームジャーを舞台に活躍するゲームクリエイターの創出

04 厳しくも温かい青年会議所への帰郷

広報活動紹介

大阪青年会議所 公式SNS



facebookを通じて事業のPRや活動報告をしています。



Instagramでは、事業のチラシや活動写真をメインにアップしています。



YouTubeでは会員の資質向上のための動画配信や、PR映像を配信しています。



TikTokでは、事業のチラシや活動写真をメインにアップしています。

活動協力企業及び連携先紹介

/ Introduction of Cooperating Companies and Partners



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社

献血にいったんでプロジェクト大阪2025

このたびは、6月7日の献血協力に際し、血液事業への温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆さまのご協力のおかげをもちまして、輸血を必要とする患者様のもとへ、輸血用血液を安定的にお届けすることができました。血液事業は私たち赤十字血液センターのみで成り立つものではなく、大阪青年会議所様をはじめ多くの団体の皆さまのご協力によって支えられています。少子高齢化の影響もあり、今後、若年層献血者をはじめとする献血者の確保がより一層重要な課題となります。今回のご協力に改めまして深く感謝申し上げますとともに、今後も献血活動への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

MINATO天保山まつり



一般社団法人いのちを繋ぐ
GOODLUCK
代表理事 外山 岳 氏

このたびはMINATO天保山まつりにてブース出展の機会をいただき、誠にありがとうございました。昨年に続き、子どもたちに向けた取り組みに参画させていただいたことを大変嬉しく思っています。消防士として災害現場や119指令業務に携わる中で、我々が到着する前に市民一人ひとりの行動が命を左右する場面に数多く直面してきました。今回のブースでは、子どもたちの「やってみたい」「助けたい」という勇気が大人へと伝わっていく体験として、救命リレーを実施しました。子どもが一步踏み出す姿に大人が背中を押され、世代を超えて想いが循環する光景は、「枠を超えた人びととともに地域デザインを波及する仕組みを構築する」というMINATO天保山まつりの趣旨とも重なるものだと感じています。来場者は約200名に達し、特に子どもたちの主体的な参加から地域の未来を強く感じました。今回の学びを、今後の地域に根ざした救命教育へと活かしていきたいと考えています。

Co-LaBo (Co-creation Launching Bridge Osaka)



株式会社Meta Heroes
代表取締役 松石 和俊 氏

この度、大阪・関西万博の「電力館：可能性のタマゴたち」で開催された『Co-LaBo Co-creation Launching Bridge Osaka』に技術協力として参画できましたことを、大変光栄に思います。私たちが提供するメタバースは、単にデジタル空間を体験するためのものではありません。防災をはじめとする様々な社会課題に対し、次世代を担う若者たちが、場所の制限を超えて知恵を出し合い、自分たちで解決策を試すことができる「挑戦の場」です。今回のイベントでも、参加した皆さんが社会課題を自分事として捉え、自らの手で未来を切り拓こうとする力強い姿を目の当たりにし、大きな可能性を確信いたしました。Meta Heroesはこれからも、メタバースやAIなどのテクノロジーを通じて日本各地の課題解決を支援し、世界で活躍するデジタル人材の育成と、活気ある地域社会の実現に邁進していきます。

2025年度 大阪・関西万博での活動

/ Activities on the 2025 Osaka Kansai Expo

廃棄物とワタシ

本事業では、廃棄物を単なる“ごみ”ではなく、新たな資源や表現の素材として捉え直し、子どもから大人までが楽しみながら学べる場を提供しました。
なかでも大盛況だったのは、海岸に漂着したシーグラスやマイクロプラスチックを使ったフォトフレームづくりのワークショップです。参加者は廃棄物でデコレーションしたフレームに自身の写真を入れることで「廃棄物とワタシ」が完成し、体験を自分ごととして持ち帰ることができました。
撮影ブースの背景には“ごみ山に黒ミyakmyak”を配置し、環境問題の深刻さをユーモラスに表現。さらに大阪青年会議所や友好LOMによる環境への取り組み展示、マシンガンズ滝沢氏によるゲスト講演を通じて、ごみ問題を自分の暮らしに重ねて考えるきっかけを届けました。
学びは家庭や学校にも広がり、世代を超えた交流や気づきにつながったことが、本事業の大きな特色です。

海Laboコンテスト

大阪・関西万博のパビリオン「BLUE OCEAN DOME(ブルーオーシャン・ドーム)」において、海洋環境問題に取り組む個人や企業によるプレゼンテーションコンテスト「海Laboコンテスト」を開催しました。
出場者の方々には、海に関する自身の経験に即した極めて鋭い洞察と専門的知見に基づくプレゼンテーションをしていただき、3名の専門家による審査・表彰を行いました。
また、特別審査員として大阪市内の大学生にも参加いただき、海をはじめとする世界の問題は決して他人ごとではなく、自らがリーダーとなって偏見のない広い視野で取り組む必要があると感じていただける機会となりました。

万博ボランティア

大阪・関西万博の会場内に設置されたデジタルウォレットパークにおいて、約半年間にわたりボランティア活動を実施しました。本活動は、万博会期を通じた継続的な取組として行われ、連日、各委員会から複数名のメンバーが参加したほか、他青年会議所の希望者や一部OBの皆さまにもご協力いただき、年間を通して万博運営の一端を担いました。
来場者対応や現場サポートなど、日々変化する運営環境の中で、関係者間の連携と情報共有を図りながら、円滑な運営支援に努めました。
本活動を通じて、国際的な大規模イベントを支える当事者としての意識を醸成するとともに、継続的なボランティア活動の重要性を再認識する機会となりました。



大阪青年会議所2025年度のあゆみ

/ JCI OSAKA 2025 Activity Report



1月 Jan. 新年名刺交換会



1月 Jan. 大阪会議



1月 Jan. 京都会議



7月 Jul. グローバルシップチャレンジ



8月 Aug. 75周年式典



8月 Aug. なぞぶろ



4月 Apr. 入会式・新人セミナー



4月 Apr. 海Laboコンテスト



5月 May. 8LOM合同例会



9月 Sep. 近畿地区大会 乙訓大会



9月 Sep. 東大阪大阪交歓会



9月 Sep. WORK TO THE FUTURE



5月 May. 第44回大阪市長杯 わんぱく相撲大阪市大会



6月 Jun. ASPACウランバトル大会



6月 Jun. 整肢学院児童レクリエーション



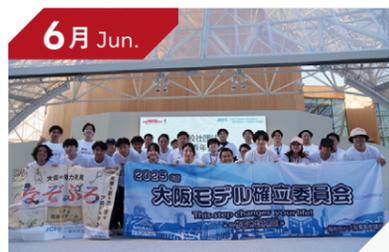
9月 Sep. 「やってみよう!キッズチャレンジ」



9月 Sep. Co-LaBo (Co-creation Launching Bridge Osaka)



9月~10月 政策革命2.0~高校生がつくる新時代~



6月 Jun. ヘルスケアバビリオン



6月 Jun. ファミリーパーク2025 難波宮deやっつろかい!



7月 Jul. サマーコンファレンス2025



10月 Oct. 全国大会 佐賀大会



10月 Oct. JCIファミリーパーク 住之江公園demoやっつろかい!



10月 Oct. MINATO天保山まつり



7月 Jul. 廃棄物とワタン



7月 Jul. 大阪ブロック大会泉佐野大会



7月~9月 BASEBALL LOVE 野球イベント&少年野球大会



10月 Oct. Asia Pacific Young Leaders' Summit (APYLS)



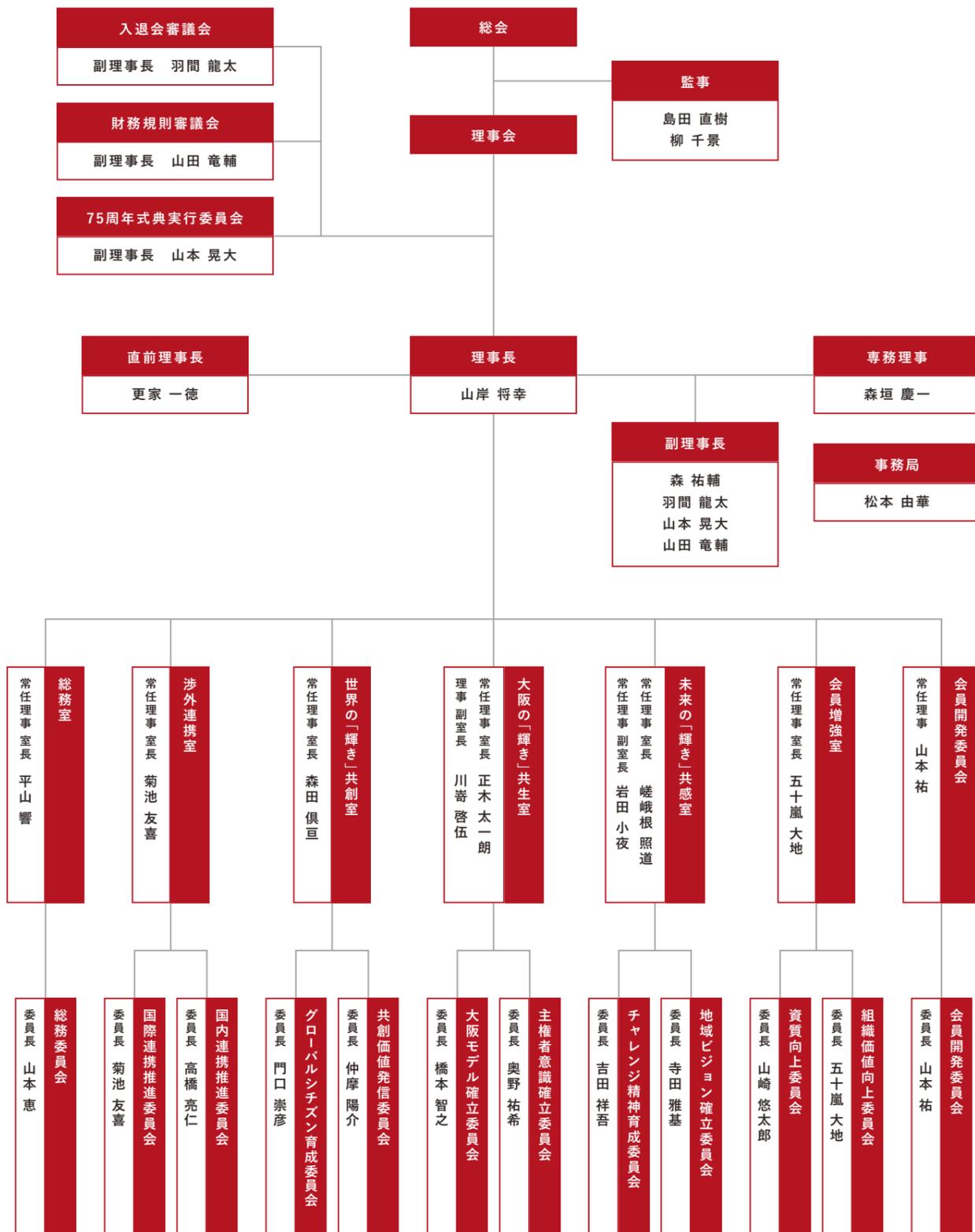
11月 Nov. 世界会議ジュニス大会



12月 Dec. 会員大会

2025年度組織図

/ 2025 Organization Chart



いのち煌めき輝く
世界のリーディング都市大阪の実現
- 剛毅果断の精神で 夢と感動を届けよう -



山岸 将幸 更家 一徳 森 祐輔 羽間 龍太 山本 晃大 山田 竜輔 森垣 慶一



島田 直樹 柳 千景 山本 祐 五十嵐 大地 嵯峨根 照道 正木 太一朗 森田 俱亘



菊池 友喜 平山 響 岩田 小夜 川崎 啓伍 山崎 悠太郎 寺田 雅基 吉田 祥吾



奥野 祐希 橋本 智之 仲摩 陽介 山口 崇彦 高橋 亮仁 山本 恵